

# J 城南島 タイムズ

城南島連合会  
発行元  
新聞委員会  
〒143-0002 東京都大田区城南島2-2-8  
電話 (03) 5755-9390  
URL: www.jounanjima.com  
印刷所: 光写真印刷株式会社

2015年(平成27年)  
**2/20** <第41号>



あけましておめでとうございます。昨年はトヨタ自動車水素で走る燃料電池車の量産モデル「ミライ」を世界で初めて発売しました。1886年にカール・ベンツとゴットフリート・ダイムラーがガソリンエンジン車を発明しましたが、これはそれ以来の歴史的快挙ではないかと思えます。最近の驚くべき原油安の要因は、シェールガスの供給が非常に増えたこと、オペックの産油量調整も大きな要因ですが、この燃料電池車の実用車発売も要因の一つとなっています。これで、石油の需要がこれから減っていくという確実な予想が、108ドルから48ドルぐらいいへという驚異的な原油安をもたらしているのです。

そして、原油安に加えて円安も進みました。90円台から120円近くまでという大幅な円安です。これは中小企業にとっては原材料の輸入価格が上がるということで大きなダメージとなっています。ですから昨年の倒産件数は28年ぶりに2000件を割り込みました。やはり景気は確実に上向いているんですね。ただ円安倒産だけは11月ごろから増えていて、今年もまだ増えるのではないかと予想されます。過去の円高の時に、日本の企業は中国をはじめとして海外に行きました。ただ尖閣諸島の問題で、中国では非常に過激な反日デモがありましたので、ポリティカルリスクを避けようということで、日本企業はインドネ



**新年のご挨拶**  
城南島連合会会長 杉崎 武春

シア、ベトナム、タイ、カンボジア、最近ではミャンマー、マレーシアという東南アジア各国に工場移転をしております。いわゆるチャイナ・プラス・ワンという考え方もあります。しかし、ここに来て中国はもろろんのことですが、ベトナムとかカンボジアの給与水準は急激に上昇しています。たとえば、ベトナムは2010年比で2.3倍、カンボジアではこの2年間で2倍になっています。ということで、円安がこれからさらに続き、東南アジアの給与水準が上がれば、当然日本への工場回帰が始まると考えられます。

こういう情勢の中で、中小企業がどうやって生きていくかということは大変に難しい問題ではあります。大田区の私たちに大いに期待できることもあります。それは羽田アクセス新線の計画です。ルートは新木場、東京、新宿の三つあるのですが、羽田へは東京貨物ターミナルから地下に潜っていくらしいんです。そのターミナルに仮の駅を作ると、そこからオリンピック会場にバスで送迎するということが考えられているようです。利用者の乗り間違いをなくすためにも、東京貨物ターミナルに駅を作る可能性は高いと思います。

そして、そこから羽田までの途中に駅を作れば、空港臨海部への経済効果は計り知れません。しかし、私が得た情報では京浜島には非常に硬い岩盤があって、どうも地下50メートルを潜って行くことになるようです。そうしますと城南島に駅を作るとすると、地下深くでなくてはなりません。通常の駅を作るには60億ぐらい掛かるといわれていますから、100億ぐらいにはなると思われます。

しかし、城南島、京浜島、昭和島の3島連絡協議会でもなんとか大田市場のそばに駅を作ろうということで合意を得ていますし、また大田工連さんとも合意をしております。駅を作りたいというのは私の悲願でもございます。今日ご来臨いただきました議員の方々、東京都、大田区の方々ぜひご協力をいただきたいと願っております。

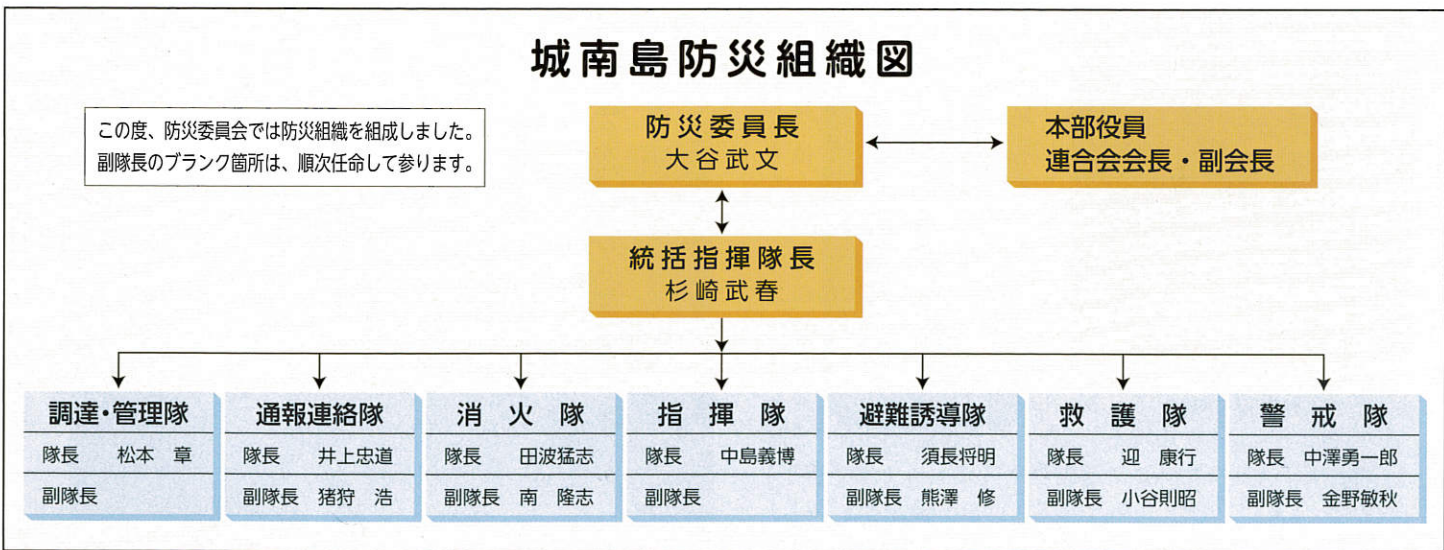
お集まりのみなさんの企業の今年ますますのご発展、みなさまの健康を祈願いたします。簡単ではありますが、私の挨拶としたいと思います。本日はどうもありがとうございました。

## ふ頭内通路実現へ

現在、城南野鳥橋北東側のドライドックを埋め立てています。臨海トンネル内で交通事故が起きれば、以前起こったような大渋滞が起り、城南島へ自動車での進入が難しくなります。城南島連合会としては、以前より東都港湾局へドライドック完成後に城南野鳥橋と並行した道路を東海6丁目を通して頂けるように要望してまいりました。

今年、予算が付き、ドライドック内にふ頭内通路が平成28年の中旬頃完成する予定です。

ふ頭内通路推進にご尽力頂いた港湾局港湾経営部 経営課長 野平様から感謝申し上げます。



**お知らせ**

**コミュニケーションマップの製作**  
城南島連合会では2006年に作り出した城南島の各企業マップの最新版を今年、製作予定で進めております。この10年あまりで、企業の面々もさまざまな移り変わりがありましたし、ガソリンスタンド、コンビニもできました。しっかりと調査を実施して2015年内にはコミュニケーションマップを皆様のお手元に届けられるよう進めて参ります。会員企業様には、無償配布いたします。その他の企業様には有償となります。是非、この機会に連合会に入会していただき、たいへん便利なコミュニケーションマップを手に入れてください。よろしくお願いたします。

**編集後記**

今号より紙面を大幅に刷新いたしました。読み易く、写真を多く取り入れビジュアルで内容を訴える方針のもと、また城南島連合会の活動を、城南島で働く方々に理解していただくことを目的としております。新企画として城南島内の企業紹介もはじめました。城南島タイムズ発信で、皆様のビジネスチャンスが生まれれば幸いです。是非、掲載希望の企業の皆様、ご連絡をお待ちしております。

今後内容も充実させて参ります。ご意見、ご提案のある方は城南島連合会、新聞委員会までご一報下さい。お待ちしております。まだまだ寒い日が続きます。体調管理をしっかりとってどうぞご自愛ください。(中澤)



# 平成27年城南島連合会、 新春賀詞交歓会開催

新春賀詞交歓会が1月15日(木)午後6時から、大森東急インで行われた。杉崎武春会長の挨拶で開会し、来賓各氏からの祝辞が述べられ、乾杯の後に懇親会となり、ライブコンサートも行われた。杉崎会長の挨拶とライブの様子は別に掲載し、「二」では来賓の祝辞要旨を紹介する。

自民党衆議院議員、内閣府副大臣の平将明氏は公務の都合で来場が遅れ、ライブ開催中に登場され、次のように祝辞を述べられた。



衆議院議員 平 将明

「みなさん、明けましておめでとう

づくりをしていこうと考えております。大田区の方々にも、大田市場協会のみなさまにも入っていただいて、街づくり協議会でいろいろと議論をし、プランを作っているところでございます。自転車でも来やすくないか、バスももう少し便利にできないか、そして羽田アクセス新線の途中駅を作れないものか、などと議論をしているところでございます。出来ることからしっかりとやっていきたいと思っております。

今年4月には区長選もありますし、区議選もございます。どうぞこの大田区の物づくり、工業、製造業の中小企業振興に対して、本当に熱意のある、また一緒に働いてくれる職員を一人でも多く生み出すことが出来るように、城南島連合会のみなさまにでございます。今年一年、景気が地域に浸透してくるよう、みなさまと共に頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。」

続いて松原忠義大田区長が挨拶される予定でしたが、公務で出席できず、代理で大田区産業経済部部長の鴨志田隆氏が出席し挨拶された。

通るルートになるらしく、なかなかハードルは高そうです。しかし、ぜひ皆さんと一緒に運動していきたいと思っております。

また、近未来技術実証特区の検討会が発足しまして、今日はじめて第一回の会議が行われました。今いろいろ政策を作っております。ドローン(無人飛行機)の自動運転とか、遠隔医療、遠隔教育などを集中的に特区認定をして、世界に先駆けて規制緩和をしようという試みもこれからやっていきます。

さまざまな可能性がこの国にもあると私は思います。そしてもちろん、大田区にも城南島にもあると思えます。ぜひ民間の力を最大限に引き出して、世界中からいろんな人が日本にきたい、勉強したい、ビジネスをしたい、観光に行きたい、そう思うような国を作っていきたいと思えます。また、いろいろご意見などいただければと思えます。本年もよろしくお願致します。」

杉崎会長の開会挨拶につづいて、自民党東京都議会議員の鈴木あきまさ氏が最初の来賓挨拶に立たれた。



東京都議会議員 鈴木 あきまさ

「みなさま新年明けましておめでとうございます。杉崎会長から夢のあるお話をいただきましたが、東京都も併添知事から予算大綱が発表になりました。久方ぶりに一般会計特別会計、13兆円を超える予算になりました。5年後の東京オリンピック、パラリンピックに向けていよいよ本格的に動き出す予算ということであります。オリンピックはトップアスリートの祭典であります。日本にとって、また東京都にとって技術力を世界に示し発信する重要な機会でもあると思えます。私ども東京都議会の立場から、地元工業会、物づくりのみなさまのお声をしっかりと伺って、それを予算に反映していきたい、しっかりと形にしていきたいと思っております。

また、杉崎会長からお話ございましたが、雇用を確保し、従業員が働きやすい環境を作っていくことは本当に大切です。自民党では地元の議員を中心に、少し夢のある臨海部の街



大田区産業経済部 部長 鴨志田 隆

「みなさん、明けましておめでとうございます。四半期ごとに区で行っております景況DI(景気動向指数)調査によりまして、今年度は製造業にしましては大変厳しい結果が出ております。しかし、区では新年度予算、あるいは27年度の補正予算、さまざま機会を活用して、区の産業振興、工業振興に資する施策を行っていきたいと思っております。

また、昨年は従業員3人以下を含めた企業の実態調査を行いました。少し深い調査をしたということから、質問項目が大変多くなってしまいました。が、ご協力ありがとうございました。この調査結果を次年度以降の工業振興にしっかりと活かしていきたいと思っております。

大田区では今、羽田空港の跡地に産業交流施設、あるいはクールジャパン機能の検討を行っております。島部におきましては、工場の建て替え、もしくは機能更新、あるいは交

通ネットワークの整備、こういったものが大きな課題であるということでは区でも十分に認識しております。産業経済部、その他関連部局が連携をとりまして、適切に対応してまいりますと思っております。

企業立地促進基本計画も、現在次年度以降の延長に向けて東京と協力を進めております。何とか島部、臨海部、内陸部を含めまして工業の集積を守り製造業を守っていく、そういった観点でこれからも頑張っていきたいと思っております。本年の城南島連合会、そして今日お集まりのみなさまのますますのご発展を願いましてご挨拶とさせていただきます。」

次に(一社)大田工業連合会の舟久保利明会長が次のように祝辞を述べた。



一般社団法人大田工業連合会 会長 舟久保 利明

杉崎会長が言っておられた羽田アクセス新線においても、東京都の課長は、ほとんど可能性はゼロ%に等しいと言っていましたけれど、私はそんなことないと思えます。岩をも穿つ気持ちであれば何とかなるはずで、まあ何年掛かるかわかりません

# 城南島の企業

## 第1回 リコーロジステイクス 株式会社

今回から毎号、連合会に所属する企業を紹介していくコーナーを連載します。

第1回は昨年夏に開設された、リコーロジステイクス(株)の物流センター。

お話は同社の首都圏事業本部・OS事業部・事業企画部長の林雅裕さんに伺いました。

(インタビュー：中澤勇一郎)



物流センター城南島 東京都大田区城南島 7-2-3

物に新たな物流センターを開設した。建物は免震構造で内部は基本的には5階で、事務スペースが中2階方式で差し込まれる形になっているので、建築基準法では8階建になる。本格的に稼働したのはお盆休み明けの8月18日から。

が可能となっている。取り扱いアイテムはおよそ4万点。1日の出荷個数は約2万件、4万箱。すべてパレットコードによって管理されている。センターには現在約200名の従業員がいるが、正社員は10%ほどで、90%は派遣、アルバイトなどの非正規社員。通勤の足や作業量の問題もあり若い人が多い。逆に専属の運送業者はドライバーの高齢化が進んでいる。景気が回復基調にある分、物流には人材が集まりにくくなっている。物流は人に依存するところが多いので、従業員の採用、確保、教育がこれからの大きな課題となっていると思う。この悩みは連合会企業も同じである。



首都圏事業本部・OS事業部・事業企画部長の林 雅裕さん

## 入庫から出荷まで、物流の全工程を安心して任せられる専門企業



リコーロジステイクス(株)は、1964年2月に株式会社リコーの物流部門を独立して設立された。現在、100カ所を超え



る国内拠点を海外に10拠点をもつ総合グローバルロジステイクス企業である。2014年7月、それまで京浜島にあった自社ビルの物流センターが手狭になったため、大和ハウスが城南島内の敷地面積1万5988平方メートル(4836坪)に建設した8階建ての建

る倉庫としての在庫管理、発送業務ではなく、物流業務全般の最適化、コスト削減を目指す3PL(サード・パーティ・ロジステイクス=Third Party Logistics)方式。委託会社の大家商会は担当者1名をセンターに常駐させるだけで、安全で確実、効率的な物流



る倉庫としての在庫管理、発送業務ではなく、物流業務全般の最適化、コスト削減を目指す3PL(サード・パーティ・ロジステイクス=Third Party Logistics)方式。委託会社の大家商会は担当者1名をセンターに常駐させるだけで、安全で確実、効率的な物流

けれど、そういう気持ちで物事に立ち向かわなければダメだと私は思います。いろいろな意味で今年は皆さんがたの英知を結集して、自分たちで出来ることは可能な限りやって、これからの新しい日本の工業は自分たちで背負っていくという気持ちで、皆さんと一緒に頑張っていこうと思えます。今後ともよろしくお願います。」

ここで、さわやか信用金庫 京浜島支店、中島耕一 支店長の音頭で乾杯となった。



さわやか信用金庫京浜島支店 支店長 中島 耕一

「明けましておめでとうございませう。昨年来株価も上がり、円安、原油安など進み経済状況が変わってきておりますが、中小企業では景気回復の実感はまだまだです。私も金融機関はみなさまを支援をしていくことが使命だと

思っております。地域の活性化、お客さまへのコンサルティング業務に注力したいと思っております。今日ご出席のみなさまのご活躍とご健勝を願っています、声高らかに乾杯をご唱和いただきたいと思います。乾杯！」

そして、懇親会となり、フナクボ香織さんのライブ・コンサート、平衆議院議員の挨拶があり、中澤勇一郎副会長の中締め挨拶が行われた。



城南島連合会 副会長 中澤 勇一郎

「宴もたけなわではありませんが、中締めのご挨拶を申し上げます。来賓のみなさまから景気の話もありましたけれど、各企業が工夫してやっていかねければならない時代になってきております。城南島連合会も本当に知恵を働かせながら頑張っていきたいと思っております。」

## 下町の底力を高らかに歌う~ライブ



フナクボ香織と仲間たち

和やかに歓談が進む中で、ライブ演奏が行われた。出演は「フナクボ香織とその仲間たち」。フナクボ香織さんはシンガーソングライター、ギターの弾き語り奏者。2004年にメジャーデビューし、ライブ活動の傍ら3枚のCDをリリースしている。

香織さんは(一社)大田工連の舟久保利明会長のお嬢さん。舟久保家は香織さんの祖父が創業した(株)昭和製作所で、現在は父の利明さんが会長で弟の利和さんが社長。利和さんは「下町ポップスレー」のネットワークプロジェクト推進

委員会委員長でもある。

香織さんはアーティスト名をフナクボとしていることでもわかる通り、下町工場の娘であることを誇りにし、何とか自分も音楽で家業に関わりたく強く思っていたという。そして、その気持をストレートに表現した「下町サンシャイン」を数年前に作曲し、大田区を中心に歌っている。大田区の町工場と舟久保家の日常を題材にしたこの曲は、この日の会場でも大好評。ライブが終わると「アンコール」の声が止まず、その熱烈な声に応えてもう一度演奏された。香織さんは「町工場をバカにしちゃいけない、下町の底力を見よ」と高らかに歌い上げた。杉崎武春会長はこの曲を何とか全国に広めたいものだ「下町ポップスレー」に続いて、「下町サンシャイン」が全国区になれば、どんなに素晴らしいことかと語っていた。



### 【演奏】

ヴォーカルとセミアコ：フナクボ香織 エレキギター、エレキベース、パーカッションはガーさん、ヨーゾーさん、岡ちゃん

